

平成24年度 指定管理者施設管理評価シート

部 福祉部 課 高齢福祉課

施設名称		〔12〕 東京都台東区立橋場老人福祉館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H23.4.1 ~ H28.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者施設の管理・運営を行う。					
(2)類似施設の管理実績	老人福祉センター・入谷老人福祉館・三筋老人福祉館					
(3)経営状況	(23年度決算ベース) [社会福祉事業会計]歳入2,801,147,502円,歳出2,609,179,684円,収支差額191,967,818円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区橋場1-36-2					
(2)設置目的	地域の高齢者が、健康で明るく生きがいのある生活を送れるよう活動の場を提供する。					
(3)利用者	区内に住所を有する60歳以上の者及び60歳以上の者で組織する団体					
(4)開館日・時間	火曜日から日曜日 9時から17時まで					
(5)規模	延べ床面積 1,544.67㎡のうち365.63㎡ 鉄筋コンクリート造地上5階のうち4階部分 教養室、囲碁将棋室、茶室、談話室など					
(6)人員体制	4名 内訳...施設管理員(常勤1、非常勤3)					
3. 事業(サービス提供)の概要						
(1)委託事業	教養向上及びレクリエーション事業、個人・団体へ教養室等の開放、防災訓練 等					
(2)自主事業	各種サロン、地域・世代間交流事業、各種教室 等					
4. 予算決算の推移						
		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度
予算	委託料	29,970,000	22,463,000	16,308,000	16,172,000	16,172,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	29,970,000	22,463,000	16,308,000	16,172,000	16,172,000
決算	委託料	23,754,694	21,136,792	16,308,000	16,172,000	16,172,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	23,754,694	19,936,128	14,814,841	15,267,056	15,166,470
	収支	0	1,200,664	1,493,159	904,944	1,005,530
5. 施設の稼働状況等(活動指標)						
指標名称		単位	20年度	21年度	22年度	23年度
開館日数		日	291	294	295	296
健康づくり(介護予防)事業実施回数		回	97	105	91	68
ことぶき教室実施回数		回	90	100	100	100
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値(25年度)	21年度	22年度	23年度
利用者数		人	24,500	20,022	21,697	23,809
健康づくり(介護予防)事業ことぶき教室参加者数		人	3,900	4,225	3,850	3,589

7. 平成23年度評価結果に対する現在までの取組み

新規サロンや、各種団体や地域と連携した事業を実施し、地域の高齢者福祉の拠点となるよう活動している。

8. 評価項目  
 3：協定等の水準を上回っている。 0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。 -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成	[2]	(f)開館時間等の遵守	[2]
	(b)サービス水準	[2]	(g)自主事業の成果	[2]
	(c)職員配置	[2]	(h)個人情報保護	[2]
	(d)職員研修	[2]	(i)緊急時対応	[2]
	(e)案内・接遇	[2]	(j)警備・防犯体制	[2]
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検	[2]	(e)危険箇所等の確認	[2]
	(b)備品の管理	[2]	(f)管理記録の作成・保存	[2]
	(c)清掃・衛生管理	[2]	(g)業務委託の事前承認	[2]
	(d)施設の修繕	[2]	(h)省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3)利用者の満足度 平均 [2.0]	(a)利用者・第三者機関の評価	[2]	(d)利用しやすい環境整備	[2]
	(b)苦情・要望への対応と報告	[2]	(e)関係団体・地域との関わり	[2]
	(c)利用者数の目標達成	[2]		
(4)歳入歳出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行	[2]	(c)収支計画の達成	[2]
	(b)経費縮減のための取組み	[2]	(d)利用料等の徴収・管理	[2]

9. 評価  
 S（水準以上）：協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）：協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）：協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）：協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）：協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説 明
(1)事業の運営	A	利用者数が増加するなど、地域の高齢者に教養、レクリエーション等の場を提供するという役割を十分に果たしている。
(2)施設の維持管理	A	設備の定期的な保守点検や備品の管理、衛生管理等が適切に行われている。
(3)利用者の満足度	A	満足度調査で「大変満足」「概ね満足」と答える方が多く、高い評価を受けている。また、地域包括センターと連携した行事の開催、地域行事への協力等にも取り組んでいる。
(4)歳入歳出	A	予算は適正に執行されており、管理経費の削減も図られた。

10. 総合評価 良好 妥当 要努力 要改善 不適

<b>妥当</b>	NPOと協働した講座の開催や、関係機関等との連携を積極的に行い、個人利用者数の増加や満足度の向上を図るなど、適切な事業運営がなされている。
-----------	---

11. 平成24年度評価結果に対する今後の対応

各種教室やサロン実施等、サービス充実の努力により、利用者は増加しており、利用者の満足度も高い。今後もさらに地域に密着した事業を展開し、地域の高齢者福祉の拠点となっていく必要がある。